



日田市議会議長 飯田茂男 「議会機能の強化」で信頼される議会に



持続可能な「活力ある日田市」を目指して 日田市長 原田啓介

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、平成29年7月の豪雨災害に伴い「日田市復旧・復興推進計画」の策定を行い、早期の復興に向けた取組を全市挙げて進めてきたところでございます。特に、流出したJR久大本線の花月川橋梁については早期に復旧が進み、1年余りで全線再開がなされました。しかし、JR日田彦山線については、依然として再開のめどが立っていない状況でございます。そのため、市議会をはじめ日田市自治会連合会、日田商工会議所、日田地区商工会など、市民並びに経済界を挙げて署名活動を行い、JR九州に対して早期全面復旧と長期的な運行の確保を要望いたしました。

今後、市議会といたしましては、被災地域の早期復興に向けた取組をより一層進めてまいりたいと存じます。

一方、近年の少子高齢化の進展とそれに伴う人口減少社会の到来により、地域への影響は特に顕著なものとなっております。そのため、今後とも地域における人材の育成・確保や新たな住民自治組織の構築など「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、全国各地で地震や風水害などの自然災害によって甚大な被害が相次いで発生しました。本市においては、平成29年7月の九州北部豪雨により大きな被害を受けたことから、昨年「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、一日も早い復旧・復興と被災された方々への生活再建支援、今後の災害に備えた取組を全力で行っております。

そうした中、昨年7月には関係各位の格段のご理解と力強いご支援によって、JR久大本線が全線運行再開となり、多くの市民が喜びを分かち合うことができました。加えて、2年ぶりに日田祇園山鉾集団顔見世を開催することもでき、災害からの「創造的復興」を進める上で大きな力となるものと感じたところです。また、本年9月にはラグビーワールドカップ2019が日本で開催されます。九州では大分・福岡・熊本の各県が試合会場となっており、国内外から多くの方が来られますことから、これを好機と捉え、本市の災害からの復旧・復興、元気をアピールしてまいります。

さて、国内においては、景気は緩やかに回復しているといわれておりますが、地方ではその実感に乏しいのが現状であり、少子高齢化による急速な人口減少を背景に、地域コミュニティ

の衰退など様々な課題も顕在化しています。こうした状況に対し、市では昨年、地域経済復興プレミアム商品券を発行し、地域内経済の好循環を拡大するとともに、観光客等への消費喚起による経済浮揚に取り組んでまいりました。また、移住支援策の推進によって、昨年度の県外から本市への移住者数は389人と、2年連続で県内自治体では最多となったほか、中津江地域では、地域で取り組むことを住民自らが決め、実行するための仕組み「中津江むらづくり役場」が住民の合意によって設立されました。むらづくり役場は、市民と行政の協働を進める本市では、初めてとなる住民自治組織であり、新たな公共の担い手として、今後の活躍が期待されるところで

本年も「市民協働のまちづくり」を基本とした市政運営を図るため、「第6次日田市総合計画」及び「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策を着実に実行しながら、「地域力」を磨き、「新たな公共」と「未来を展望する」まちづくりを一層進め、持続可能な「活力ある日田市」の実現に向け邁進してまいりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

実施、成果を上げていくよう、行政と議会が一体となって進めてまいりたいと存じます。

また、本市議会におきましては、これまで政策研究会を設けて、各種施策を調査、研究し、市に政策提言を行ってまいりました。特に、平成28年度からは若者政策に重点を置き、全議員による研修会を開催するなど積極的に研究を進め、若者施策の推進や人材発掘・育成・確保、若者の意見を市政に反映できる仕組みの構築などら項目の「若者が活躍するまちづくり」に関する提言を行いました。今後、提言の内容を可能な限り市政に反映し、活気のある日田市の形成を図ってまいりたいと存じます。

さらに、昨年は、決算をより効果的に審査できるような見直しを行うとともに、課題となっている議題について自由に討論を行う「議員相互間の討議」を正式に導入するなど、議会運営の充実を図ってきたところでございます。

市議会といたしましては、今後とも議会機能の更なる強化・充実に努め、市民の皆様が安心、安全に暮らせるまちづくりに向けた取組に、なお一層邁進してまいりたいと存じます。

結びに、本年が皆様にとって輝かしい年でありますようお願いするとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

の衰退など様々な課題も顕在化しています。こうした状況に対し、市では昨年、地域経済復興プレミアム商品券を発行し、地域内経済の好循環を拡大するとともに、観光客等への消費喚起による経済浮揚に取り組んでまいりました。また、移住支援策の推進によって、昨年度の県外から本市への移住者数は389人と、2年連続で県内自治体では最多となったほか、中津江地域では、地域で取り組むことを住民自らが決め、実行するための仕組み「中津江むらづくり役場」が住民の合意によって設立されました。むらづくり役場は、市民と行政の協働を進める本市では、初めてとなる住民自治組織であり、新たな公共の担い手として、今後の活躍が期待されるところで

本年も「市民協働のまちづくり」を基本とした市政運営を図るため、「第6次日田市総合計画」及び「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策を着実に実行しながら、「地域力」を磨き、「新たな公共」と「未来を展望する」まちづくりを一層進め、持続可能な「活力ある日田市」の実現に向け邁進してまいりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

実施、成果を上げていくよう、行政と議会が一体となって進めてまいりたいと存じます。

また、本市議会におきましては、これまで政策研究会を設けて、各種施策を調査、研究し、市に政策提言を行ってまいりました。特に、平成28年度からは若者政策に重点を置き、全議員による研修会を開催するなど積極的に研究を進め、若者施策の推進や人材発掘・育成・確保、若者の意見を市政に反映できる仕組みの構築などら項目の「若者が活躍するまちづくり」に関する提言を行いました。今後、提言の内容を可能な限り市政に反映し、活気のある日田市の形成を図ってまいりたいと存じます。

さらに、昨年は、決算をより効果的に審査できるような見直しを行うとともに、課題となっている議題について自由に討論を行う「議員相互間の討議」を正式に導入するなど、議会運営の充実を図ってきたところでございます。

市議会といたしましては、今後とも議会機能の更なる強化・充実に努め、市民の皆様が安心、安全に暮らせるまちづくりに向けた取組に、なお一層邁進してまいりたいと存じます。

結びに、本年が皆様にとって輝かしい年でありますようお願いするとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。